

2022 化学基礎シラバス

科目	化学基礎	単位	2	学年	3年選択 C 4年選択 H	使用教科書	東京書籍「改訂 新編化学基礎」
----	------	----	---	----	------------------	-------	-----------------

I 学習の到達目標

物質とその変化に関わり、科学的な見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 学習計画

学期	月 (配当時間)	学習内容	評価	反省	
(38)	前期	4 (7)	<授業ガイダンス> 第1編 物質の構成 第1章 物質の成分と構成元素 1節 物質の成分		
	5 (9)	2節 物質の構成元素 3節 物質の三態 第2章 原子の構造と元素の周期表 1節 原子の構造			
	6 (8)	2節 電子配置と周期表 第3章 化学結合 1節 イオンとイオン結合 (1)			
	7 (6)	1節 イオンとイオン結合 (2) 2節 分子と共有結合			
	9 (8)	3節 金属と金属結合 前期の学習を振り返る			
(38)	後期	10 (8)	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 1節 原子量・分子量・式量 2節 物質と		
	11 (8)	3節 溶液の濃度 4節 化学反応式とその量的関係			
	12 (7)	第2章 酸・塩基 1節 酸と塩基 2節 水素イオン濃度とpH			
	1 (7)	3節 中和反応と塩 4節 中和滴定			
	2 (6)	第3章 酸化還元反応 1節 酸化と還元 2節 酸化剤と還元剤 3節 金属の酸化還元反応			
3 (2)	4節 酸化還元反応の応用 後期の学習を振り返る				

3 評価の観点

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	・自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	定期テスト 実験技能 ワークシート
思考・判断・表現	・自然の事物・現象から問題を見だし, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。	考察能力 実験レポート 定期テスト
主体的に取り組む態度	・自然の事物・現象に主体的に関わり, 見通しをもったり振り返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	授業観察 ワークシート

4 観点別学習状況の評価の数量化

観点別学習の評価	内容	達成度 (%)	得点
A	十分満足できると判断されるもの	80~100	5
		60~79	4
B	おおむね満足できると判断されるもの	40~59	3
C	努力を要すると判断されるもの	20~39	2
		0~19	1

5 各学期の評価方法

3観点の合計点数	14~15	11~13	8~10	5~7	3~4
評定	5	4	3	2	1